

第 27 回塩尻市地域公共交通会議兼第 9 回塩尻市地域公共交通協議会 次第

日 時：令和 4 年 6 月 27 日（月）

午前 10 時～

場 所：塩尻市役所 5 階大会議室

1 開 会

2 会 長 挨 拶

3 議 事

報告案件

(1) 令和 3 年度地域振興バスの運行状況について 【資料 No. 1】

(2) 塩尻市地域公共交通計画事業効果の評価について 【資料 No. 2】

協議案件

第 1 号議案

令和 5 年度生活交通確保維持改善計画（案）について 【資料 No. 3】

第 2 号議案

令和 4 年度 AI 活用型オンデマンドバスのるーと塩尻実証運行計画(案)について
【資料 No. 4】

4 そ の 他

5 閉 会

報告案件(1) 令和3年度地域振興バスの運行状況について



新型コロナウイルス感染症の影響が続き、利用者は前年比1%減少となった

地域振興バス 乗車人数集計（路線別）

単位（人）

令和3年度	アルピコ運行路線										大新東運行路線		合計
	片丘線	洗馬線	塩尻東線	みどり湖東山線	宗賀線	広丘駅循環線	中心市街地循環線	塩尻北部線	北小野	小計	檜川線	小計	
4月	475	967	770	485	893	812	310	956	896	6,564	1,859	1,859	8,423
5月	405	846	739	356	760	707	232	843	792	5,680	1,717	1,717	7,397
6月	397	964	778	417	994	889	270	1061	823	6,593	1,936	1,936	8,529
7月	427	914	801	442	937	890	308	899	808	6,426	2,021	2,021	8,447
8月	472	847	695	434	974	793	277	780	715	5,987	1,997	1,997	7,984
9月	444	891	689	371	885	826	286	837	844	6,073	1,995	1,995	8,068
10月	505	882	766	461	943	944	268	993	820	6,582	2,205	2,205	8,787
11月	458	833	737	387	966	902	280	915	782	6,260	2,044	2,044	8,304
12月	459	899	743	436	1,040	906	299	966	881	6,629	2,047	2,047	8,676
1月	391	714	590	348	795	722	230	845	624	5,259	1,585	1,585	6,844
2月	379	676	638	364	767	700	188	811	619	5,142	1,566	1,566	6,708
3月	451	895	737	454	1,033	906	253	1085	799	6,613	2,052	2,052	8,665
合計	5,263	10,328	8,683	4,955	10,987	9,997	3,201	10,991	9,403	73,808	23,024	23,024	96,832
1日あたり平均乗車人数	17.90	35.13	29.53	16.85	37.37	34.00	10.89	37.38	32.09	27.91	63.96	63.96	45.93
1便あたり平均乗車人数	3.58	7.03	5.91	3.75	7.47	6.80	1.81	9.35	8.02	5.97	11.63	11.63	8.80

<前年との比較>	4条路線										自家用有償運送		合計
	片丘線	洗馬線	塩尻東線	みどり湖東山線	宗賀線	広丘駅循環線	中心市街地循環線	塩尻北部線	北小野	小計	檜川線	小計	
【R2】乗車総人数	6,467	11,301	9,366	5,391	10,580	8,970	3,259	10,337	11,025	76,696	21,199	21,199	97,895
【R3】乗車総人数	5,263	10,328	8,683	4,955	10,987	9,997	3,201	10,991	9,403	73,808	23,024	23,024	96,832
増減	▲1,204	▲973	▲683	▲436	407	1,027	▲58	654	▲1,622	▲2,888	1,825	1,825	▲1,063
対前年同期比(%)	▲18.62	▲8.61	▲7.29	▲8.09	3.85	11.45	▲1.78	6.33	▲14.71	▲3.77	8.61	8.61	▲1.09
【R2】1便当たり乗車人数	4.40	7.69	6.37	4.07	7.20	6.10	1.85	8.79	8.13	6.07	10.71	10.71	8.39
【R3】1便当たり乗車人数	3.58	7.03	5.91	3.75	7.47	6.80	1.81	9.35	8.02	5.97	11.63	11.63	8.80
増減	▲0.82	▲0.66	▲0.46	▲0.33	0.28	0.70	▲0.03	0.56	▲0.11	▲0.10	0.92	0.92	0.41

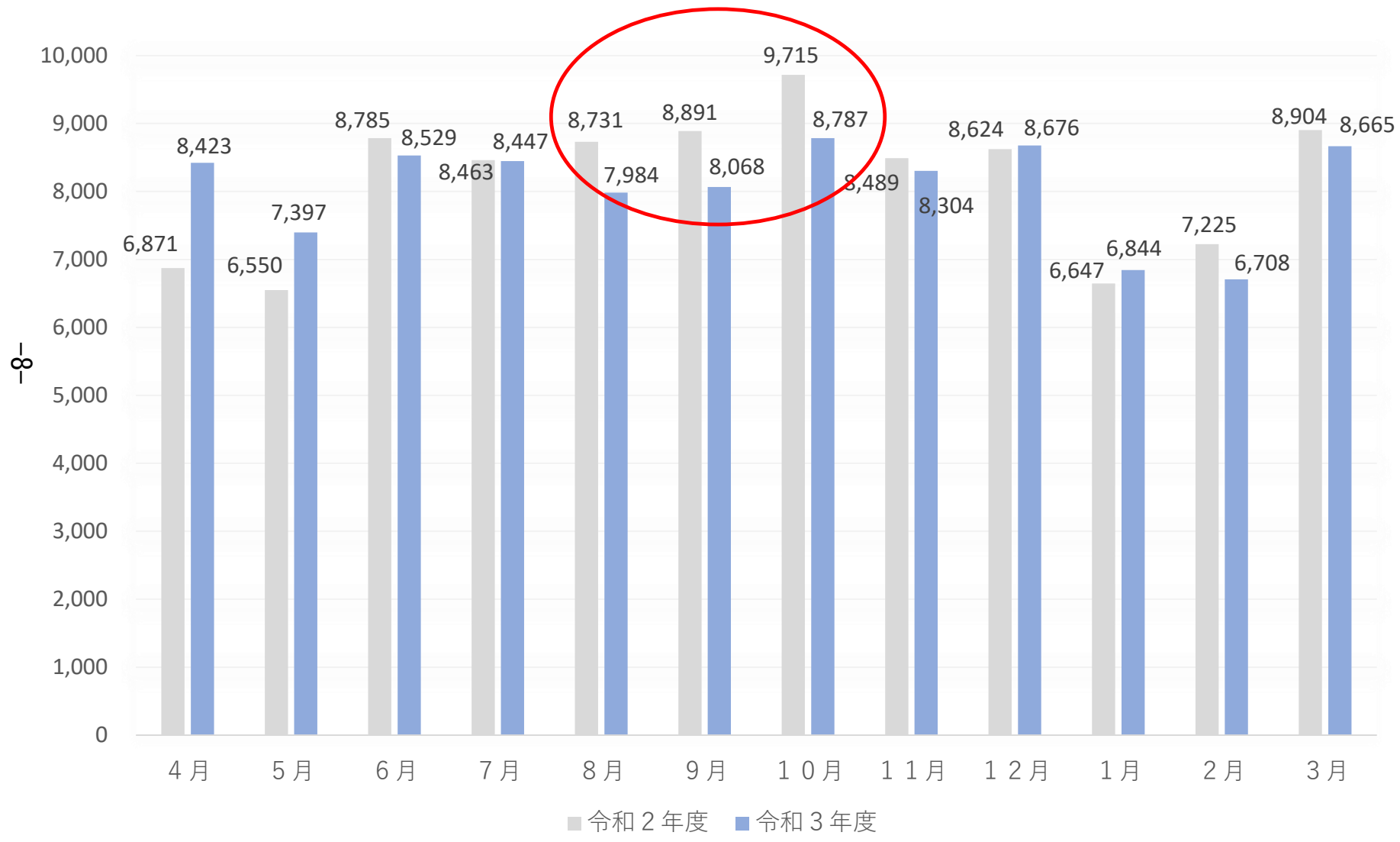
運行委託料

単位（円）

年度	アルピコ運行路線	大新東運行路線	運行委託料
令和2年度	78,561,930	21,384,000	99,945,930
令和3年度	77,545,155	21,384,000	98,929,155
増減	▲1,016,775	0	▲1,016,775

月別の利用者を前年度と比較すると、春先は好調であったが、夏場に新型コロナウイルスのデルタ株の蔓延が影響し減少、その後も大きく持ち直すことがなかった

単位（人）



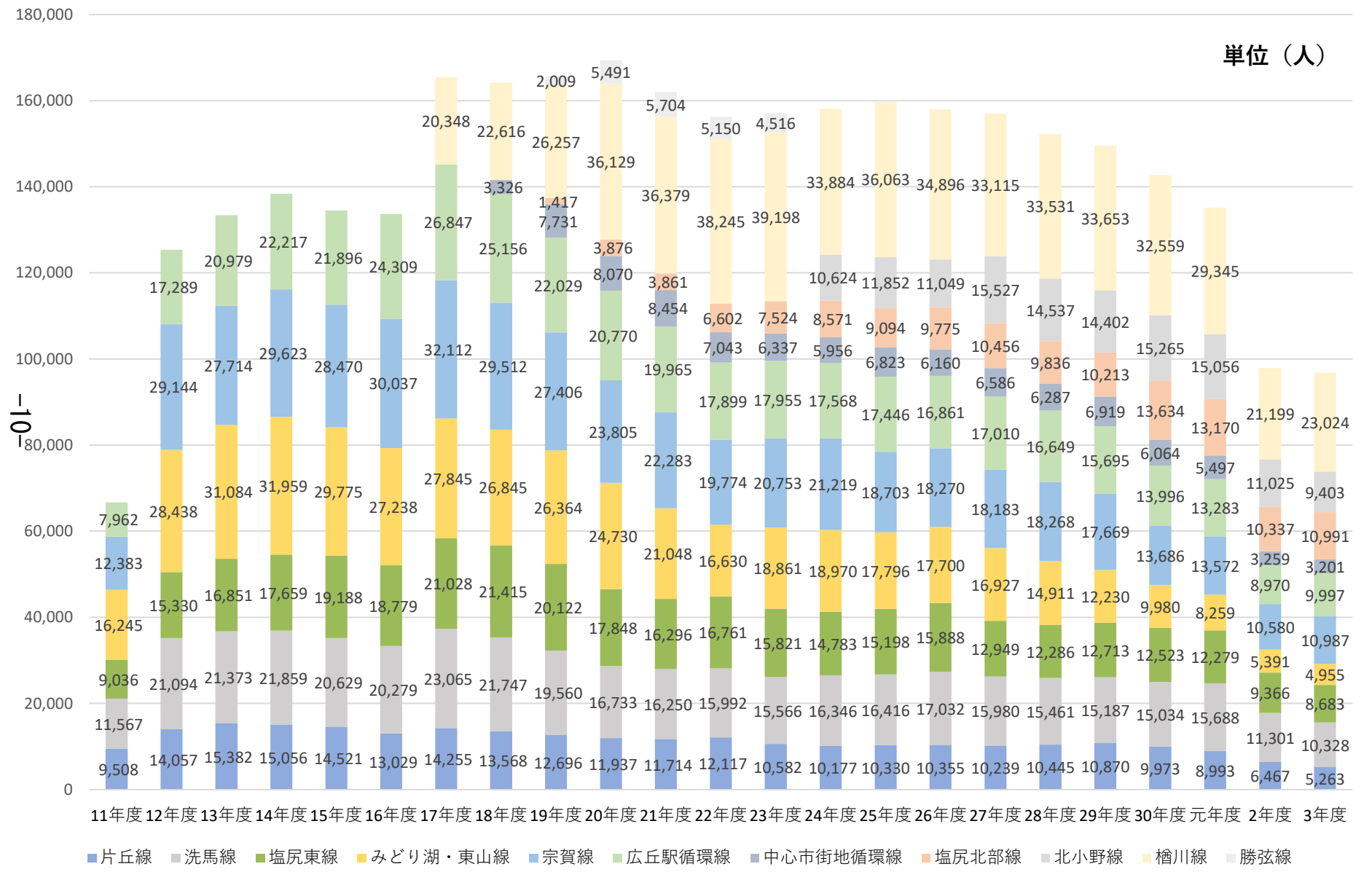
平成11年度の運行開始以来の数値は以下のとおり

地域振興バス乗車人数 集計表 (単位：人)

年度	4 条路線									小計	自家用有償運行		小計	合計
	片丘線	洗馬線	塩尻東線	みどり湖・ 東山線	宗賀線	広丘駅循環線	中心市街 地循環線	塩尻北部線	北小野線		檜川線	勝弦線		
11年度	9,508	11,567	9,036	16,245	12,383	7,962				66,701				66,701
12年度	14,057	21,094	15,330	28,438	29,144	17,289				125,352				125,352
13年度	15,382	21,373	16,851	31,084	27,714	20,979				133,383				133,383
14年度	15,056	21,859	17,659	31,959	29,623	22,217				138,373				138,373
15年度	14,521	20,629	19,188	29,775	28,470	21,896				134,479				134,479
16年度	13,029	20,279	18,779	27,238	30,037	24,309				133,671				133,671
17年度	14,255	23,065	21,028	27,845	32,112	26,847				145,152	20,348		20,348	165,500
18年度	13,568	21,747	21,415	26,845	29,512	25,156	3,326			141,569	22,616		22,616	164,185
19年度	12,696	19,560	20,122	26,364	27,406	22,029	7,731	1,417		137,325	26,257	2,009	28,266	165,591
20年度	11,937	16,733	17,848	24,730	23,805	20,770	8,070	3,876		127,769	36,129	5,491	41,620	169,389
21年度	11,714	16,250	16,296	21,048	22,283	19,965	8,454	3,861		119,871	36,379	5,704	42,083	161,954
22年度	12,117	15,992	16,761	16,630	19,774	17,899	7,043	6,602		112,818	38,245	5,150	43,395	156,213
23年度	10,582	15,566	15,821	18,861	20,753	17,955	6,337	7,524		113,399	39,198	4,516	43,714	157,113
24年度	10,177	16,346	14,783	18,970	21,219	17,568	5,956	8,571	10,624	124,214	33,884		33,884	158,098
25年度	10,330	16,416	15,198	17,796	18,703	17,446	6,823	9,094	11,852	123,658	36,063		36,063	159,721
26年度	10,355	17,032	15,888	17,700	18,270	16,861	6,160	9,775	11,049	123,090	34,896		34,896	157,986
27年度	10,239	15,980	12,949	16,927	18,183	17,010	6,586	10,456	15,527	123,857	33,115		33,115	156,972
28年度	10,445	15,461	12,286	14,911	18,268	16,649	6,287	9,836	14,537	118,680	33,531		33,531	152,211
29年度	10,870	15,187	12,713	12,230	17,669	15,695	6,919	10,213	14,402	115,898	33,653		33,653	149,551
30年度	9,973	15,034	12,523	9,980	13,686	13,996	6,064	13,634	15,265	110,155	32,559		32,559	142,714
元年度	8,993	15,688	12,279	8,259	13,572	13,283	5,497	13,170	15,056	105,797	29,345		29,345	135,142
2年度	6,467	11,301	9,366	5,391	10,580	8,970	3,259	10,337	11,025	76,696	21,199		21,199	97,895
3年度	5,263	10,328	8,683	4,955	10,987	9,997	3,201	10,991	9,403	73,808	23,024		23,024	96,832
計	261,534	394,487	352,802	454,181	494,153	412,748	97,713	129,357	128,740	2,725,715	530,441	22,870	553,311	3,279,026

これまでの乗客数ピーク時の人数

ピーク時の平成20年(17万人)と比較して約7万人利用者が減少している状況



報告案件(2)

塩尻市地域公共交通計画事業効果の評価について

塩尻市地域公共交通計画の評価について



地域公共交通計画とは・・・

「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。国が定める「地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本方針」に基づき、地方公共団体が地域の移動に関する関係者を集めて「活性化再生法に基づく協議会」を開催しつつ、交通事業者や地域の関係者等との個別協議を重ねることで作成していくものです。

引用：国土交通省「地域公共交通等の作成と運用手引き」（第3版（令和4年3月））

参考「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」

（地域公共交通計画）

第五条 地方公共団体は、基本方針に基づき、国土交通省令で定めるところにより、市町村にあっては単独で又は共同して、都道府県にあっては当該都道府県の区域内の市町村と共同して、当該市町村の区域内について、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画を作成するよう努めなければならない。



塩尻市地域公共交通計画の評価について

塩尻市地域公共交通計画の概要

塩尻市の地域公共交通の背景と目的

本市では、これまでに「地域交通利用構想（2007年3月）」を策定し、地域公共交通の維持や改善に努めてきました。しかし、人口減少、少子高齢化、自家用車への依存、利用者ニーズの多様化などを背景として、利用者は減少傾向にあり、地域公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。また、地域公共交通の運営面では、バス・タクシー運転士の高齢化、担い手不足が深刻化しており、将来にわたる地域公共交通の持続性を確保することが喫緊の課題となっています。

このような状況の中で、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を図るためには、鉄道や地域振興バスだけでなく、タクシー、福祉輸送、スクールバス、各種送迎サービスなど地域における輸送資源を総動員し、地域住民・交通事業者・行政が連携を図りながら、それぞれの取組みを進める必要があります。そのため、本計画の策定にあたっては、国が定める基本方針に基づき、市民代表、PTA連合会、社会福祉協議会、商工会議所、観光協会、学識経験者、交通事業者、国、長野県、近隣自治体、塩尻市により構成される塩尻市地域公共交通協議会を設置し、地域公共交通の将来像を検討しました。この協議会における検討結果を踏まえ、市が目指す将来都市像を実現するうえで地域公共交通の果たすべき役割を

明らかにするとともに、持続可能な地域公共交通を実現するため、そのビジョン、目標及び施策体系を示すマスタープランとして塩尻市地域公共交通計画を策定します。

計画の区域

計画の対象区域は塩尻市全域とします。ただし、市民の移動実態等を考慮し、市域外への移動で他自治体との広域連携が必要な場合は、協力して事業を推進します。

計画期間

計画期間は、令和3年（2021年）度から令和8年（2026年）度の6年間とします。
※ 中間年度の令和5年（2023年）度に必要な場合は計画の見直しを行います。

表 計画期間

	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
塩尻市総合計画(長期戦略)	2015 ~ 2023				次期 2024 ~ (予定)		
塩尻市総合計画(中期戦略)	~ 2020	2021 ~ 2023			次期 2024 ~ (予定)		
塩尻市都市計画マスタープラン	2009 ~ 2023				次期 2024 ~ (予定)		
塩尻市立地適正化計画	2019 ~						
塩尻市地域公共交通計画	2021 ~ 2026						



図 計画の区域

基本方針

暮らしを支え、ひと・まち・里を「えん」でつなぐ
地域公共交通の実現

「えん」は、塩尻市の塩・地域住民同志の縁（ご縁）・切れ目のない持続可能な円を意味しています。

計画目標

- 将来にわたり持続可能でまちづくりや観光に貢献する地域公共交通体系の構築
- オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現
- 住民とともに考ええる地域公共交通環境づくり
- 利用者の目的や特性、利用実態に応じたサービスの提供

地域公共交通ネットワーク



塩尻市地域公共交通計画の評価について

取り組み施策の実施に向けて

塩尻市地域公共交通計画の概要

計画の評価指標

本計画では、「暮らしを支え、ひと・まち・里を「えん」でつなぐ地域公共交通の実現」を理念として、4つの目標と15の取り組み施策を位置づけました。今後、本計画の理念に基づいて取り組み施策を推進していく中で、結果を定期的・定量的に評価するとともに、必要に応じて計画を見直すことが求められます。4つの目標と15の取り組み施策は、相互に関連することから、重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）は、地域振興バス利用者数、収支率、公的負担額、利用者満足度に着目して設定を行うこととします。本計画の目標を実現するため、各評価指標において、2019年を基準年度として計画期間の2026年度（目標年度）に達成すべき目標値を次のように設定します。

表 評価指標と目標値

番号	評価指標	2019年 (基準年度)	2023年 (中間年度)	2026年 (目標年度)
1	地域振興バス利用者数	135,142人	140,000人	151,000人
2	収支率	13.0%	-	18.0%
3	公的負担額	92,468,000円	-	現状維持
4	利用者満足度	26.2%	32.0%	34.0%

各地域の特性や交通需要を十分に考慮した再編を確実に推進することで、公的負担額は同水準に保ちつつ、利便性の向上によって利用者数が増加し収支率の改善を図ること、地域公共交通の持続性を確保していくことを目指します。本計画において評価指標として設定した地域振興バス利用者数の目標値は、2026年において1人が地域振興バスを年間2回強（1往復）利用することで達成できます。そのため、現在、地域振興バスを利用している人は継続して利用し、全く利用していない人も地域振興バスを年に1往復程度利用した外出をすることで、目標は大きく達成することができます。

■みんなで乗って残す地域公共交通
○現在利用している人は継続して利用
○利用していない人も年に1回は利用

地域公共交通の基礎となる役割分担

本市では、将来にわたり持続可能な地域公共交通を構築するため、自助、共助、公助の役割分担を意識し、それぞれが個別に対策を検討し実施するのではなく、お互いの取り組みを補完し合い、各主体が相互に協力しながら地域公共交通の課題を解決できるような体制構築を目指していきます。それぞれが自らの役割に応じた取り組みを実施することで相乗効果がうまれ、より効果的に施策を推進することができます。



施策の実施体制

本計画の推進は、行政のみならず交通事業者や地域住民、企業、学校、団体などと協力して進める必要があります。また、塩尻市地域公共交通協議会において、相互調整や進捗管理を行い進めます。行政は、地域公共交通の維持に必要な施策を計画的に実施し、関係各課との協調・調整を行います。交通事業者は、安全目撃丁寧な接客による運行サービスを提供します。地域住民や企業、学校、団体等は、地域の持続可能性のためにも、自動車のみならず地域公共交通を活用した移動を行うことで、地域公共交通を使って支えます。様々なメンバーにより構成される塩尻市地域公共交通協議会において、地域公共交通に関する検討を継続して行います。



図 施策の実施体制のイメージ

計画の進捗管理

本計画の理念を踏まえた4つの目標に基づく15の取り組み施策について、各年度における各施策の進捗や評価指標の達成状況を地域公共交通協議会に報告し、毎年度評価・検証を図るとともに次年度以降の改善につなげます。また、行政評価の施策指標にも位置づけ、PDCAサイクルに基づき実施します。本計画の中間年度である2023年度には、評価指標のモニタリングを実施し、塩尻市地域公共交通協議会での検討を踏まえ、必要があれば本計画の評価指標及び取り組み施策の見直しを実施します。さらに、最終年度の2026年度には、計画期間全体にわたるモニタリングを実施し、評価指標の達成状況を踏まえ、次期計画を検討します。

表 計画の進捗管理イメージ

段階	R3 (2021)年	R4 (2022)年	R5 (2023)年 中間年度	R6 (2024)年	R7 (2025)年	R8 (2026)年 目標年度
PLAN:計画 塩尻市地域公共交通計画策定	計画策定		必要に応じて計画見直し			
DO:実行 事業推進	事業実行	事業実行	事業実行	事業実行	事業実行	事業実行
CHECK:評価 モニタリング・評価	事業効果 評価実施	事業効果 評価実施	事業効果 評価実施 モニタリング	事業効果 評価実施	事業効果 評価実施	事業効果 評価実施 モニタリング
ACTION:改善 施策の見直し	事業見直し	事業見直し	事業見直し	事業見直し	事業見直し	事業見直し
塩尻市地域公共交通協議会	協議会 で検討	協議会 で検討	協議会 で検討	協議会 で検討	協議会 で検討	協議会 で検討

塩尻市地域公共交通計画の評価について

各評価指標における「目標値」の評価

番号	評価指標	2019年 (基準年度)	2021年度	2023年度 (中間年度)	2026年 (目標年度)
1	地域振興バス利用者数	135,142人	105,715人 (のるーと含む)	140,000人	151,000人
2	収支率	13.0%	—	—	18.0%
3	公的負担額	92,468,000円	—	—	現状維持
4	利用者満足度	26.2%	33.2%	32.0%	34.0%

目標値を達成するための「取り組み施策」の評価

- ✓ 令和3年度に取り組み施策として位置付けた事業については、次ページのとおり、全ての項目で実施済。
- ✓ 順調に推移している項目がある一方で、マイ時刻表の申請件数及びフリー降車制度等、利用者に対して周知PRを強化することで、公共交通を利用しやすい環境づくりの促進や利便性の向上に寄与。
- ✓ 今年度においても地域公共交通計画に位置付けられた事業の推進と周知PRの強化を図り、「みんなで乗って残す地域公共交通の実現」を目指す。

塩尻市地域公共交通計画の評価について

◆令和３年度取り組み施策における実績（令和３年４月から令和４年３月まで）

施策	計画目標	個別事業管理項目	調査方法	実績
し-1	将来にわたり持続可能でまちづくりや観光に貢献する地域公共交通体系の構築	地域振興バス系統別利用者数	運行事業者調査	資料１のとおり
		収支率・公的負担額 （北小野線のみ）	運行事業者調査	（北小野線のみ） 収支率：7.6% 公的負担額：2,837,024円
し-2		観光客数	長野県観光地利用者数	4,851名
		レンタサイクル事業活用者数	塩尻観光協会調査	241台
し-3		割引サービス利用者数	事務局調査	・通学定期券：43名 （片丘小：23名、榑川中：12名、榑川小：8名） ・高ボッチ教室：5名
し-4		デジタルサイネージ設置箇所数	事務局調査	4台（のるーと）
お-1	オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現	実証実験時の利用者数	運行事業者調査	8,883名
		住民意見交換会開催数	事務局調査	24回
		利用者満足度	地域振興バス・オンデマンドバス 乗車比較調査	・市民意識調査：満足・やや満足の割合33.2% ・乗車比較調査：96%の人がのるーと本格運行を希望
じ-1	住民とともに考え支える地域公共交通環境づくり	マイ時刻表の申請件数	事務局調査	2件
じ-2		利用促進PR広報の掲載数	事務局調査	2回（４月・10月）
じ-3		住民意見交換会開催数	事務局調査	すてっぷくんダイヤ改正：5回 榑川地区：1回、宗賀地区：1回、塩尻東地区：1回、洗馬地区：1回、北小野地区：1回
じ-4		イベント開催数	事務局調査	バスの乗り方教室：1回
り-1	利用者の目的や特性、利用者実態に応じたサービスの提供	運行事業者との意見交換会開催数	事務局調査	2回
		導入前後の利用者数	運行事業者調査	19名（令和４年５月分） 北小野線12名、洗馬線４名、宗賀線３名
		フリー降車区間の導入キロ数	事務局調査	30.1km 洗馬線：14.2km、北小野線：11km、みどり湖・東山線：2.5km、宗賀線：2.4km
り-2		ユニバーサルデザイン車両整備率 （整備内容については地域公共交通会議でフィードバック）	運行事業者調査	33.3%（12台中４台） ※バスナンバリング施策開始：令和３年10月１日
り-3		各種補助事業申請件数	事務局調査	お助けネットかたおか利用者：22名

塩尻市地域公共交通計画の評価について

計画目標		オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現				
取り組み施策	お-1 オンデマンドバスの導入					
事業目的	利用者ニーズの多様化を背景とする地域振興バスの利用者減少、運転士の高齢化、担い手不足等の課題に対応するため、移動困難者を含む利用者にとって適切な範囲に適切な台数のオンデマンドバスを導入し、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。					
実施主体	塩尻市	交通事業者	関係企業			
	○	○	○			
取り組み施策と実施期間						
実施項目	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
導入検討調査・評価・見直し	導入計画作成		ロードマップに基づく評価・検証・見直し			
プロモーション活動	時刻表の掲載、地区広報、市ホームページ、観光イベント、SNS等、地区説明会等において情報発信					
オンデマンドバスの導入	実証運行					
		本格運行・運送エリア拡大				
事業概要						
特に市街地ゾーン内の定時定路線バスは、必ずしも利用者及び目的施設に近接したバス停、ダイヤではないことから需給の不一致が拡大し、利用者数が減少しています。そのため、利用者ニーズに応えることが困難な地域においては、オンデマンドバスの実証運行結果に基づき、現在の地域振興バス利用者の意向を十分に考慮し、転換可能な路線は令和7年までに本格運行を目指します。						
事業イメージ						
中心市街地循環線、塩尻東線、みどり湖・東山線、塩尻北部線、広丘駅循環線、片丘線を代替対象路線と位置づけ、段階的に実証運行を行います。						
						
図お-1-1 交通体系の将来イメージ						

図お-1-1 交通体系の将来イメージ



図お-1-2 オンデマンドバス代替検討フローイメージ



図お-1-3 2020年11月実証運行時 AI活用型オンデマンドバスの運行風景

総乗客数 8,883名



- 日当たり平均は**50.2**で本実証運行の**KPIであった40人を大きく過達**。
- 代替を検討していた「中心市街地循環線」の利用者数と比較しても**約5倍の数値**となっている。
- これまでの高齢者利用に加え、生産年齢人口の利用率が大きく向上し、路線バス、タクシーではなかった新規需要(通勤・通院、小学生等の通塾、家族利用及び保育園送迎など)を取込むことができた事が大きな要因。

平均乗車時間 7.2分



- 平日は最大3台、土日祝は2台の車両を投入したが、AIの経路生成による効率的な運行により短い移動時間で運行することができ利用者満足度にも繋がった。

平均待ち時間 8.4分



- 配車希望時間に対して平均8.4分で運行することができ、代替を検討している「中心市街地循環線」と比較すると(1日6便、2～3時間に1便)柔軟性の高い移動サービスを提供することができた。

アプリ総登録者数 2,372名

(上記のうち初回利用ユーザーは846名)



- 2020年の無償実証運行と比較しても、**登録者、初回利用ユーザー共に増加**。
- 半年間の中でも少しずつ口コミ等でも利用者は増え、**ほぼ毎日一定数のアプリ登録者が存在**。

電話予約 : アプリ予約比率 = 31.5% : 68.5%



- 2020年の無償実証運行と比較し、**電話予約比率が約2倍に増加**。(2020年度の実証は15%)
- 説明会、対面アプリ相談窓口の効果もあり、真に公共交通を必要としている高齢者に徐々にサービスが浸透。

塩尻市地域公共交通計画の評価について

5.4 利用者の目的や特性、利用実態に応じたサービスの提供

計画目標		利用者の目的や特性、利用者実態に応じたサービスの提供					
取り組み施策	り-1 フリー降車制度の導入検討						
事業目的	「高齢化によりバス停までが遠い」との意見が多くあったため、バス停以外の場所でも降車を可能とするフリー降車制度により、地域公共交通の利便性の向上と高齢者をはじめとする交通弱者の移動負担の軽減を図ります。						
実施主体	塩尻市			交通事業者			
	○			○			
取り組み施策と実施期間							
実施項目	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	
導入検討調査・評価・見直し	導入検討調査・ 交通事業者協議		導入検討・アンケート 実施調査・評価				
地域振興バスのフリー降車制度の導入		開始年度に導入			利用実態に応じて見直し・拡大		
事業概要							
バス停の間隔に距離がある地域や、バス停から自宅まで徒歩での移動に負担が大きい地域などにおいては、任意の場所で降車を可能とするフリー降車制度の導入に向け、交通事業者との協議を進めます。							
事業イメージ							

出典：真知川町 web サイト

図り-1-1 フリー乗降の事例

図り-1-1 フリー乗降の事例

【フリー降車制度とは…】

- ・利用者が任意の場所で降車を可能とする制度です。
- ・洗馬線、みどり湖・東山線、宗賀線、北小野線で導入しています。
- ・フリー降車を行う際は乗車時に運転手へ降車場所を伝える必要があります。
- ・事前に申請がなく申告をいただいても対応できません。
- ・当制度は降車のみで乗車は従来通りバス停のみとなります。

【フリー降車区間の導入キロ数】

合計30.1km

→洗馬線：14.2km、北小野線：11km、みどり湖、東山線：2.5km、宗賀線：2.4km

【フリー降車区間の利用者数】

19名（令和4年5月分）

→北小野線12名、洗馬線4名、宗賀線3名

【現場の声】



運転士

利用者は40～60歳代の女性の方が多く、制度内容を理解して上手に活用していますね。北小野線では、フリー降車制度を利用する方を見て、自身も真似して活用される方がいました。徐々に制度が浸透していけば、利用者数も増えていくと思います。

第1号議案
令和5年度生活交通確保維持改善計画(案)について

地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援

補助内容

- 補助対象事業者

一般乗合旅客自動車運送事業者、自家用有償旅客運送者
又は地域公共交通活性化再生法に基づく協議会
- 補助対象経費

予測費用(補助対象経常費用見込額)から予測収益(経常収益見込額)を控除した額

予測費用

補助対象経費

予測収益

欠損

＜補助対象経費算定方法＞

予測費用
(事業者のキロ当たり経常費用見込額
× 系統毎の実車走行キロ)

－

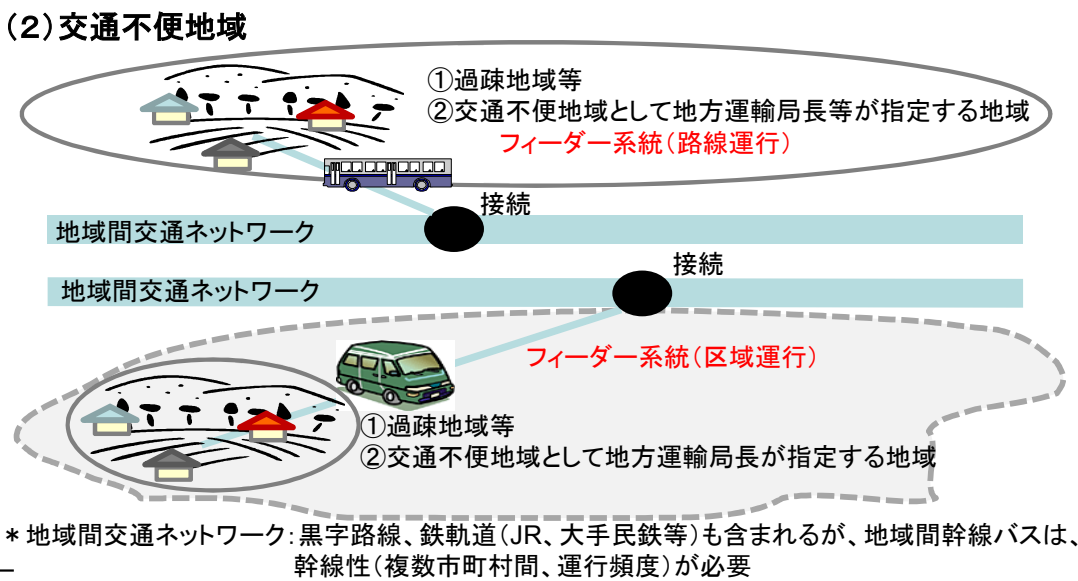
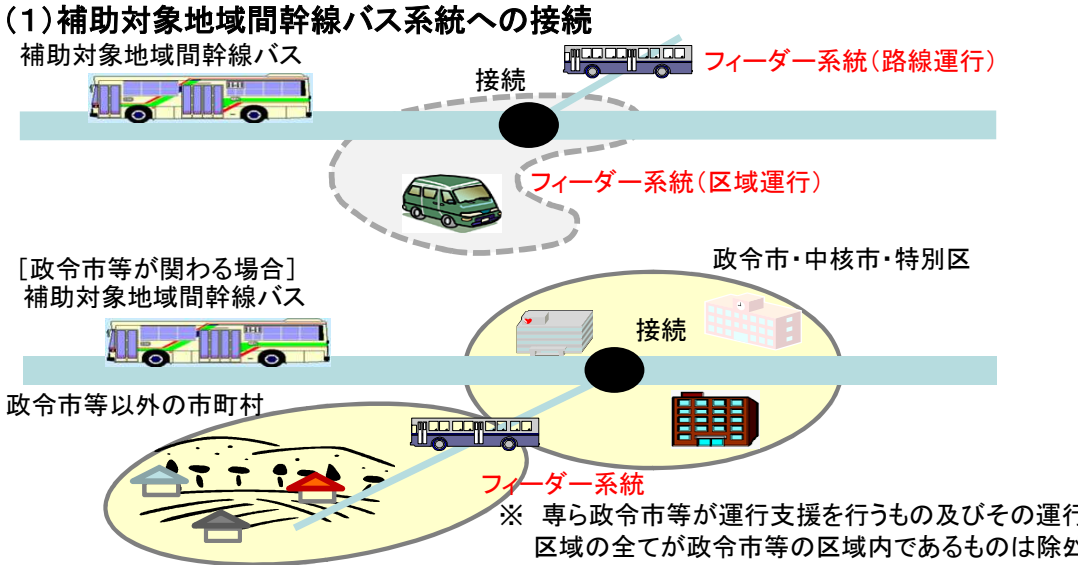
予測収益
(系統毎のキロ当たり経常収益見込額
× 系統毎の実車走行キロ)

- 補助率

1／2
- 主な補助要件

 - ・補助対象地域間バス系統を補完するものであること
又は過疎地域等の交通不便地域の移動確保を目的とするものであること
 - ・補助対象地域間幹線バス系統等へのアクセス機能を有するものであること
 - ・新たに運行又は公的支援を受けるものであること
 - ・乗車人員が1人／1便以上であること
(定時定路線型の場合に限る。)
 - ・経常赤字が見込まれること

補助対象系統のイメージ



生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）

（策定） 令和4年6月27日
（名称） 塩尻市地域公共交通会議
（代表者名） 議長 塩尻市長 小口 利幸

生活交通確保維持改善計画の名称

塩尻市地域内フィーダー系統確保維持計画（令和5年度～令和7年度）

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

塩尻市では、民間路線バスが次々に廃止される中で、中心市街地の活性化の促進と併せ、車を運転できない高齢者等交通弱者の移動を支援する目的で平成11年から「塩尻市地域振興バス」を運行し、市民のニーズに対応するため、これまで様々な変更を加えてきた。

現在、本市が運営するコミュニティバスは、JR塩尻駅前バス乗場を中心として、放射状に公共施設や病院等を結ぶ9路線と中心市街地にある主要な公共施設や商業施設を循環する1路線の10路線で、高齢者等を中心に生活に不可欠な交通として機能している。

北小野地区（の一部）は、JR小野駅があるものの、駅から1km以上離れている集落は、振興バス路線がなければ交通不便地域となっている。

また、市街地周辺に比べ中山間地域の老年人口割合が高くなる傾向が顕著に出ており、今後、その生活支援としての交通手段の確保・維持が重要な課題となっている。

このため、勝弦線（市町村運営有償運送・平成23年度をもって廃止）に替わり、交通空白地域である北小野地区（上田、宮前、古町、勝弦）を経路に含む北小野線（平成24年度より運行開始）を運行することによって、公共交通空白地域の解消を図りながら、効率的で持続可能な地域内交通を確保・維持するとともに、JR塩尻駅及びJR小野駅（地域間交通ネットワーク）に接続することにより、広域的な移動手段を確保することを目的とする。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（1）事業の目標

北小野線はJR塩尻駅前を起点とし、北小野地区やJR小野駅を経由する経路を1日4便運行する。（平成24年10月から本格運行を開始）

令和3年度事業（令和2年10月～令和3年9月）の実績として、一便あたりの平均乗車人数8.8人、利用者数10,338人と計画に位置付けられた目標値を下回る結果となった。本年5月にダイヤ改正を実施し、北小野線も見直しを行いバス停を3箇所新設し、フリー降車制度も導入した。現在は減少傾向にあるが、今回の改正を踏まえ、目標値として1便当たりの乗車人数10人、年間利用者数11,640人を目標とする。

(2) 事業の効果

当該路線を維持することにより、交通空白地域が解消され、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保されるとともに、地域間交通ネットワークとの接続により、広域的な移動手段が確保される。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

実施事業

- ・地域振興バス全路線の運行経路図及び運行時刻表の作成・配布
- ・利用状況を分析するとともに、利用者アンケート等を参考に利便性向上につながる施策や運行経路、ダイヤ見直し
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業による公共交通の利用促進
- ・「塩尻市地域公共交通計画」に位置付ける取り組み施策の推進

実施主体

- ・塩尻市地域公共交通会議

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

- ・運行系統の概要及び運行事業者

運行系統名	北小野線
系統区間	(勝弦先廻り) 塩尻駅前～塩尻東保育園前～塩嶺別荘地北～勝弦詰所前～小野駅～小野駅西～塩尻東保育園前～塩尻駅前 (古町先廻り) 塩尻駅前～塩尻東保育園前～小野駅西～小野駅～勝弦詰所前～塩嶺別荘地北～塩尻東保育園前～塩尻駅前
便数／日	4 便
運行事業者	アルピコタクシー (株)

- ・運行経路図及び運行時刻表を添付
- ・運行予定者

運行予定者であるアルピコタクシー (株) (平成28年4月、信州アルピコタクシー (株) と合併) は、平成26年10月1日にアルピコ交通 (株) から当該路線を引き継いで運行を開始したが、バス営業所、車両、乗務員等一式を引き継ぎ、過去に当該地域を運行経路に含む路線バスを運行していたことから当該地区の地域特性 (冬期間における降雪・積雪時の安全輸送や緊急時に対する代替ルートなどの道路網を熟知) に対し技術・知識を有している。

また、既存の塩尻市地域振興バスを運行しているため、現有車両による効率的運用ができることや地場産業の育成支援等の内容を総合的に検討し、協議会での協議を経て決定した。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者 塩尻市から運行事業者への補助金額については、運賃収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称 アルピコタクシー(株)
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 <u>【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】</u> ※該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準ニただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u> ※該当なし
9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u> ※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u> ※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 <u>【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】</u> ※該当なし

12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <u>【地域内フィーダー系統のみ】</u>
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付
13. 車両の取得に係る目的・必要性 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
※該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
※該当なし

16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

（１）事業の目標

※該当なし

（２）事業の効果

※該当なし

19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

20. 協議会の開催状況と主な議論

- 第19回 令和元年6月27日（令和元年度 第1回）
・生活交通確保維持改善計画（令和2年～4年）について協議、承認
- 第20回 令和2年1月29日（令和元年度 第2回）
・令和元年度事業評価について協議、承認
- 第21回 令和2年6月25日（令和2年度 第1回）
・生活交通確保維持改善計画（令和3年～5年）について協議、承認
- 第22回 令和2年12月22日（令和2年度 第2回）
・令和2年度事業評価について協議、承認
- 第23回 令和3年2月1日～2月10日書面協議（令和2年度 第3回）
・生活交通確保維持改善計画（令和3年～令和5年）の変更について協議、承認
- 第24回 令和3年6月25日（令和3年度 第1回）
・生活交通確保維持改善計画（令和4年～6年）について協議、承認
- 第25回 令和3年12月21日（令和3年度 第2回）
・令和3年度事業評価について協議、承認
- 第26回 令和4年2月1日（令和3年度 第3回）
・生活交通確保維持改善計画（令和4年～6年）の変更について協議・承認
- 第27回 令和4年6月27日
・生活交通確保維持改善計画（令和5年～7年）について協議、承認

21. 利用者等の意見の反映状況

塩尻市地域公共交通会議の構成員に、住民または利用者代表として「塩尻市友愛クラブ(老人クラブ)連合会」「市内及び経路内11地区の区長」等の代表者に委嘱をしている。
また、地区懇談会や社内アンケート調査等により意見を収集し、塩尻市地域公共交通会議において検討、反映している。

22. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	長野県企画振興部交通政策課 松本地域振興局企画振興課
関係市区町村	松本市建設部維持課 辰野町建設水道課
交通事業者・交通施設管理者等	アルピコタクシー(株)、大新東株式会社、塩尻地区タクシー協議会、長野県バス協会、東日本旅客鉄道(株)、長野国道事務所、飯田国道事務所木曾維持出張所、長野県松本建設事務所、長野県塩尻警察署
運輸局及び地方運輸局	北陸信越運輸局、長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	塩尻市友愛クラブ連合会、市内各地区区長会長（全10地区） 辰野町小野区長、アルピコ交通(株)、辰野タクシー(株)、信州アルピコタクシー労働組合、学識経験者、塩尻市PTA連合会、塩尻市社会福祉協議会、塩尻商工会議所、塩尻市観光協会

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）長野県塩尻市大門七番町3番3号

（所 属）塩尻市建設事業部都市計画課計画係

（氏 名）辰野 裕

（電 話）0263-52-0280（内線 1241）

（e-mail）toshi@city.shiojiri.lg.jp

第2号議案

令和4年度

-28- AI活用型オンデマンドバスのるーとの実証運行計画(案)について

令和4年度 AI活用型オンデマンドバス『のるーと塩尻』 実証運行計画（案）について

【塩尻東エリア】



1 実証運行に取り組む背景

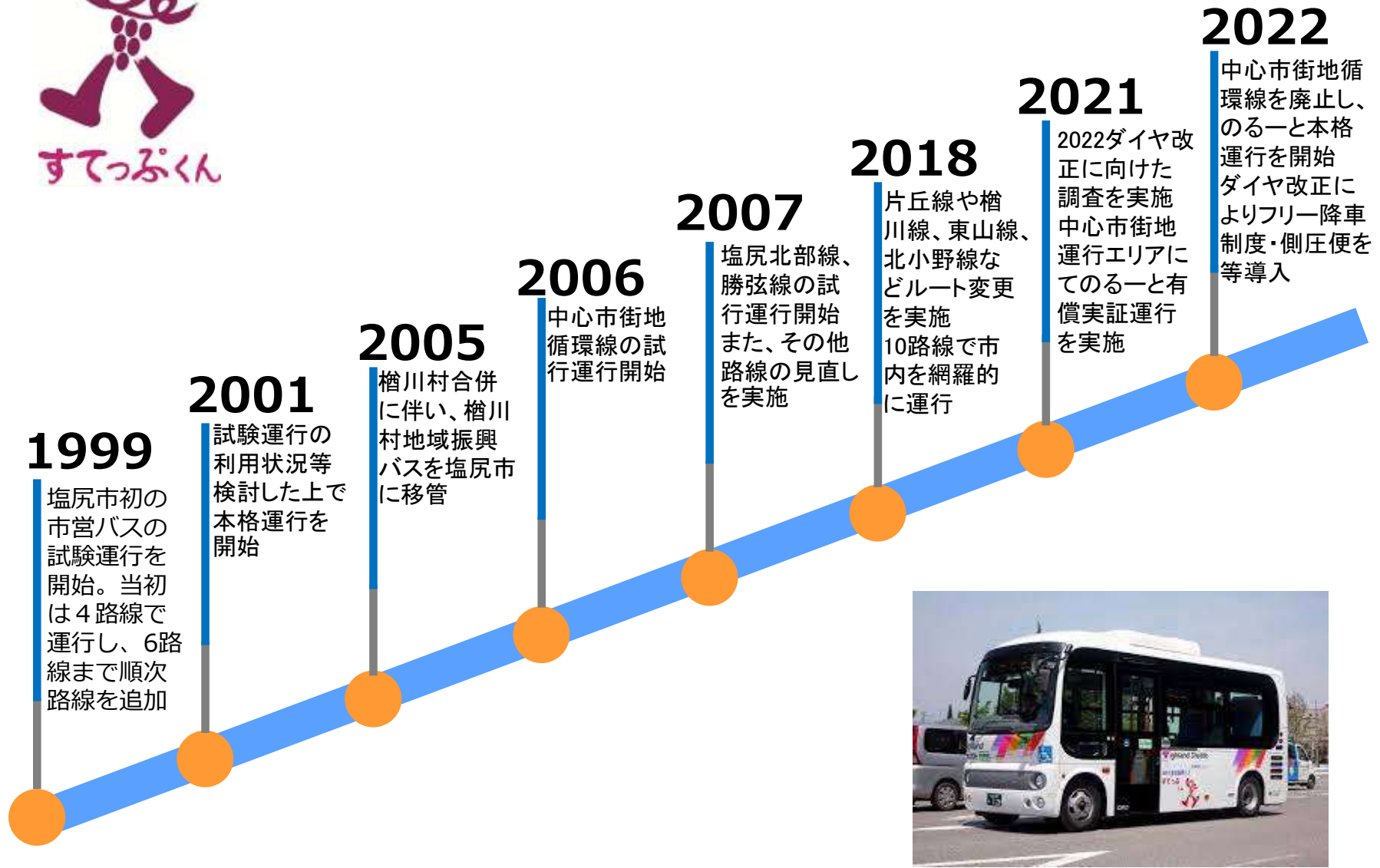
2 令和3年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行最終結果

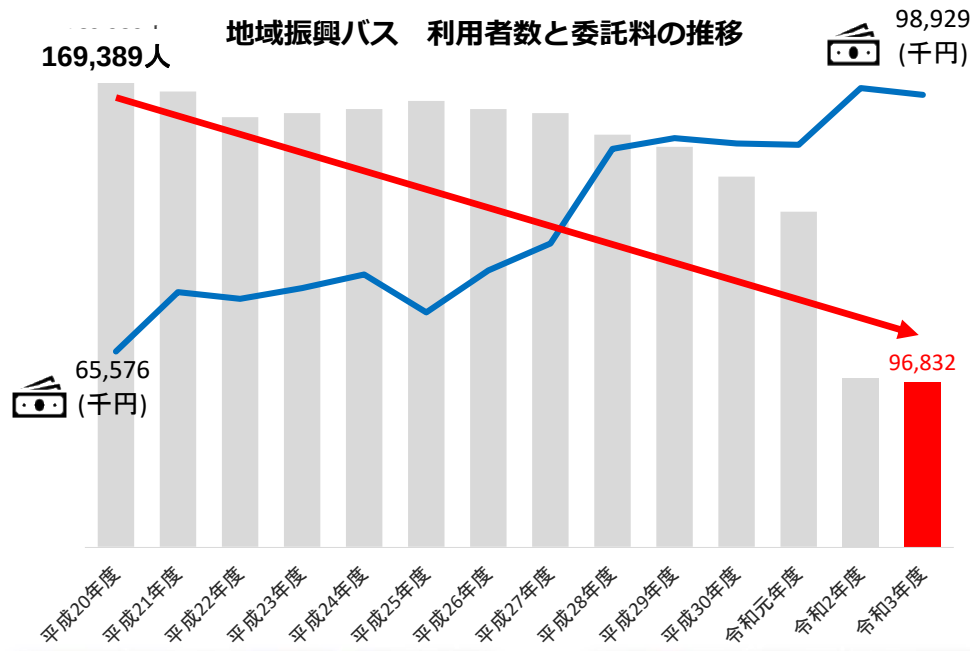
3 令和4年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行計画（案）

1 塩尻地域振興バス「すてっぷくん」の概要



地域振興バス「すてっぷくん」を取り巻く課題



ピーク時から
約7万人減

委託料は**増加**



ニーズの多様化



空気を運ぶバス

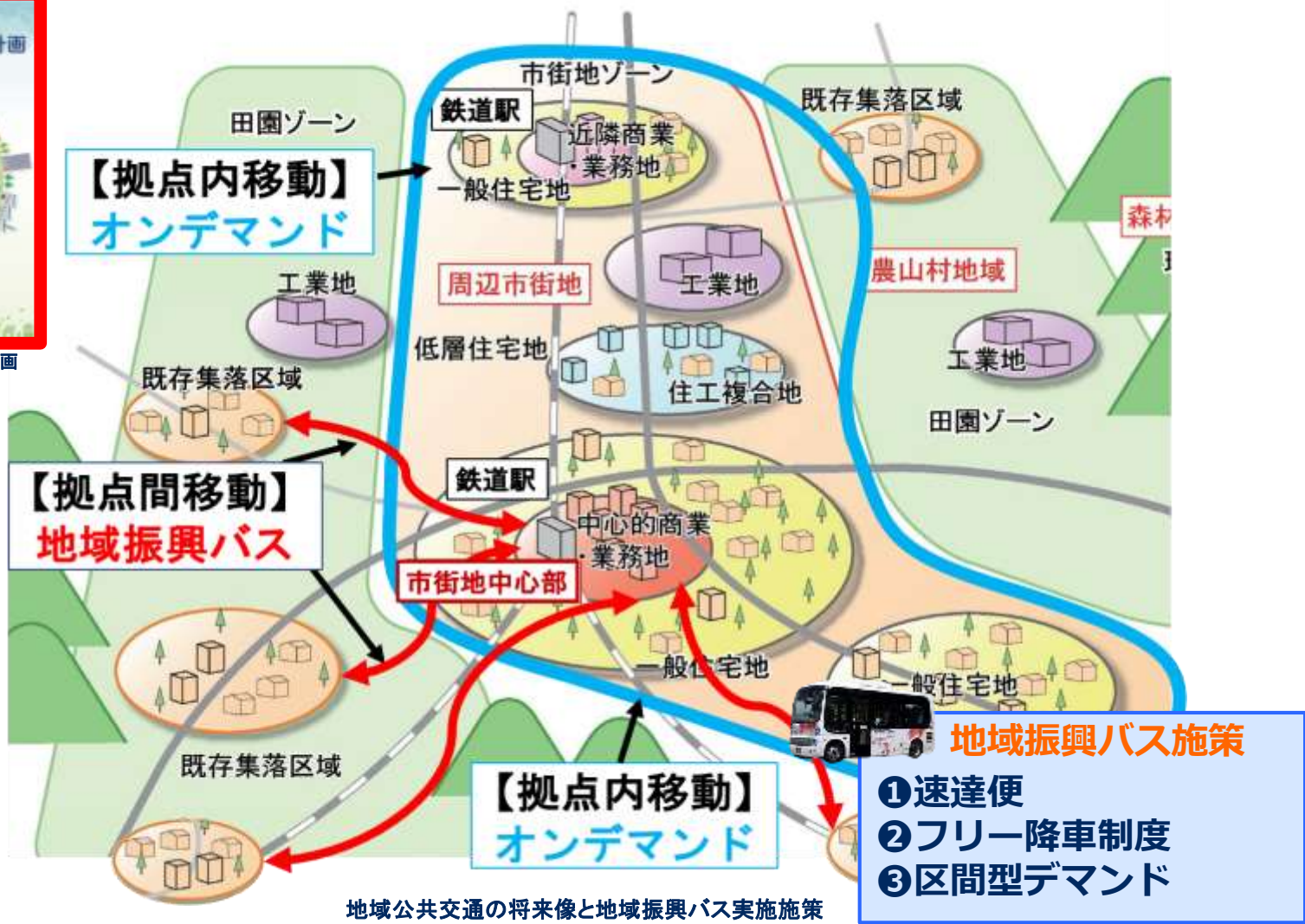


ドライバー不足と高齢化

地域公共交通計画策定において、地域交通網の将来像及びアンケート調査結果に基づき地域振興バスの課題を解決する施策を位置付け



塩尻市地域公共交通計画
2021年7月公表



1 実証運行に取り組む背景

2 令和3年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行最終結果

3 令和4年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行計画（案）

2 令和3年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行最終結果

実証運行の背景・目的

背景

- 利用者の減少等を背景として、公共交通の持続性を確保していく必要がある。
- 令和3年7月に公表をした地域公共交通計画においては、実証運行を行う中でサービス水準を検証し、市街地を運行する地域振興バス路線をオンデマンドバスにサービス代替が可能か否かを検討することとしている。

目的

- 地域振興バス「中心市街地循環線」のサービス代替を検討するため有償での実証運行を実施した。

運行期間

- 10月1日～3月31日（12月30日～1月3日は運休）

運行時間

- 平日 午前7:00～午後8:00
- 土曜 午前9:00～午後8:00
- 祝日 午前9:00～午後6:00

料金

- 大人 200円
- 小児、障がい者 100円
- 乳幼児 無料

運行エリア・MP

運行エリア面積 約10km²
MP設置数 111箇所
(システム設定含む)



※ 2021年10月1日～2022年3月31日の期間の実績

総乗客数 8,883人



- 日当たり平均は**50.2**で本実証運行の**KPIであった40人を大きく過達**。
- 代替を検討していた「中心市街地循環線」の利用者数と比較しても**約5倍の数値**となっている。
- これまでの高齢者利用に加え、生産年齢人口の利用率が大きく向上し、路線バス、タクシーではなかった新規需要(通勤・通院、小学生等の通塾、家族利用及び保育園送迎など)を取込むことができた事が大きな要因。



平均乗車時間 7.2分

- 平日は最大3台、土日祝は2台の車両を投入したが、AIの経路生成による効率的な運行により短い移動時間で運行することができ利用者満足度にも繋がった。



平均待ち時間 8.4分

- 配車希望時間に対して平均8.4分で運行することができ、代替を検討している「中心市街地循環線」と比較すると(1日6便、2～3時間に1便)柔軟性の高い移動サービスを提供することができた。



アプリ総登録者数 2,372人

(上記のうち初回利用ユーザーは846人)

- 2020年の無償実証運行と比較しても、**登録者、初回利用ユーザー共に増加**。
- 半年間の中でも少しずつ口コミ等でも利用者は増え、**ほぼ毎日一定数のアプリ登録者が存在**。



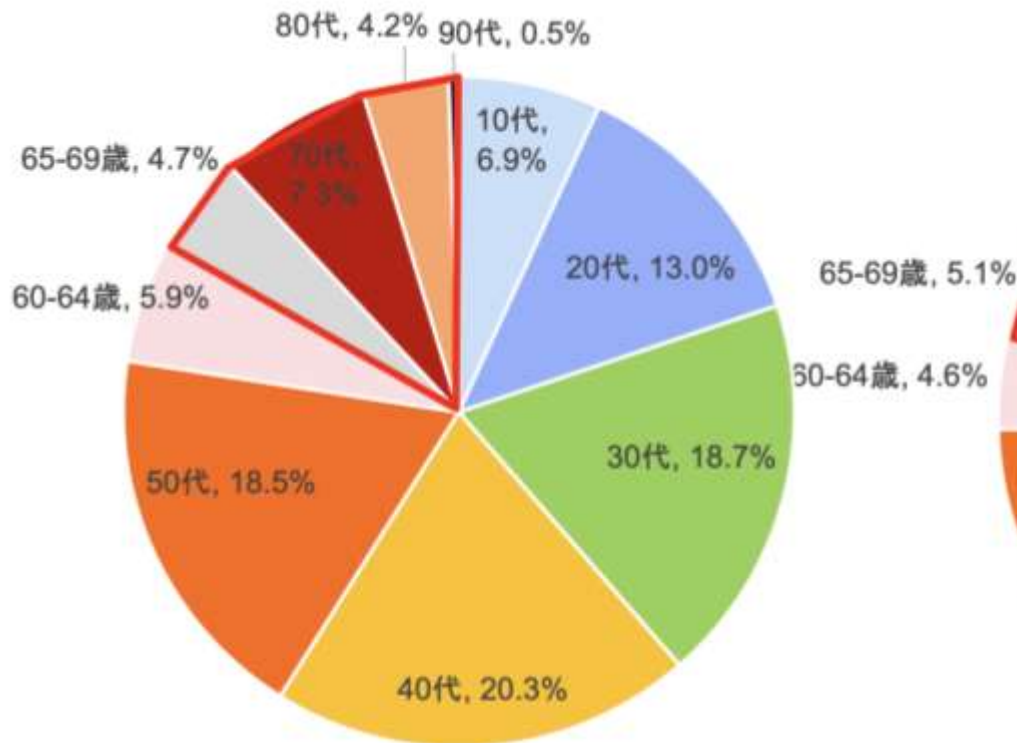
電話予約 : アプリ予約比率 = 31.5% : 68.5%

- 2020年の無償実証運行と比較し、**電話予約比率が約2倍に増加**。(2020年度の実証は15%)
- 説明会、対面アプリ相談窓口の効果もあり、真に公共交通を必要としている高齢者に徐々にサービスが浸透。

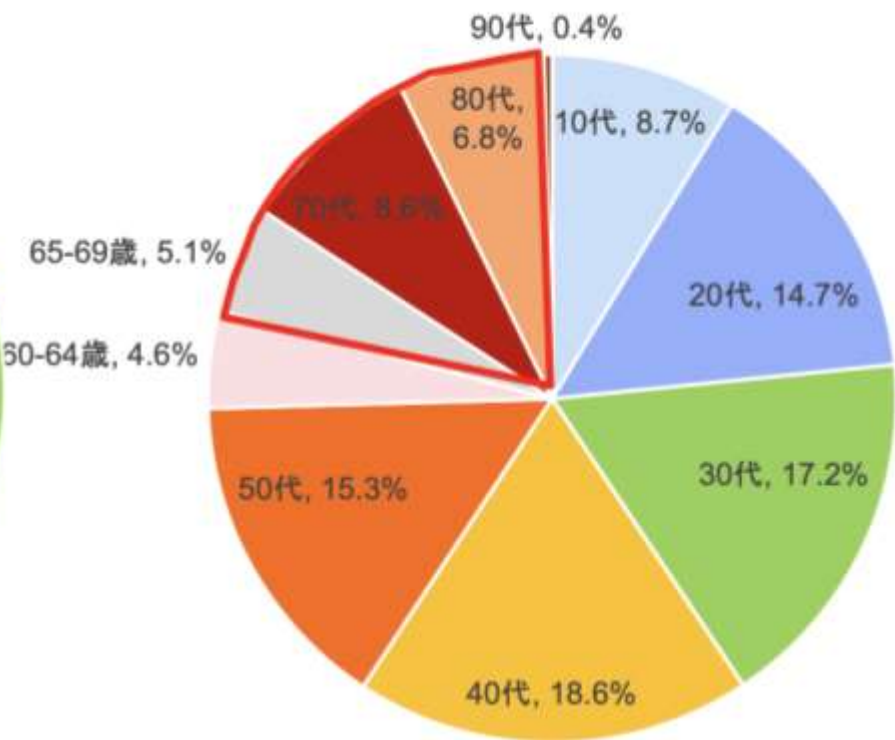
- 総登録者数2,369人の内、年齢の登録が確認出来ている方は1,853人でした。その内、高齢者(65歳以上)の比率は、17%程度となりました。
- 総利用者数874人の内、年齢の登録が確認出来ている方は790人でした。その内、高齢者(65歳以上)の比率は、21%程度となりました。

※総利用者数=1回以上「のるーと」をご利用頂いた人数

年代別構成比率【n=1,853】
(登録者ベース)

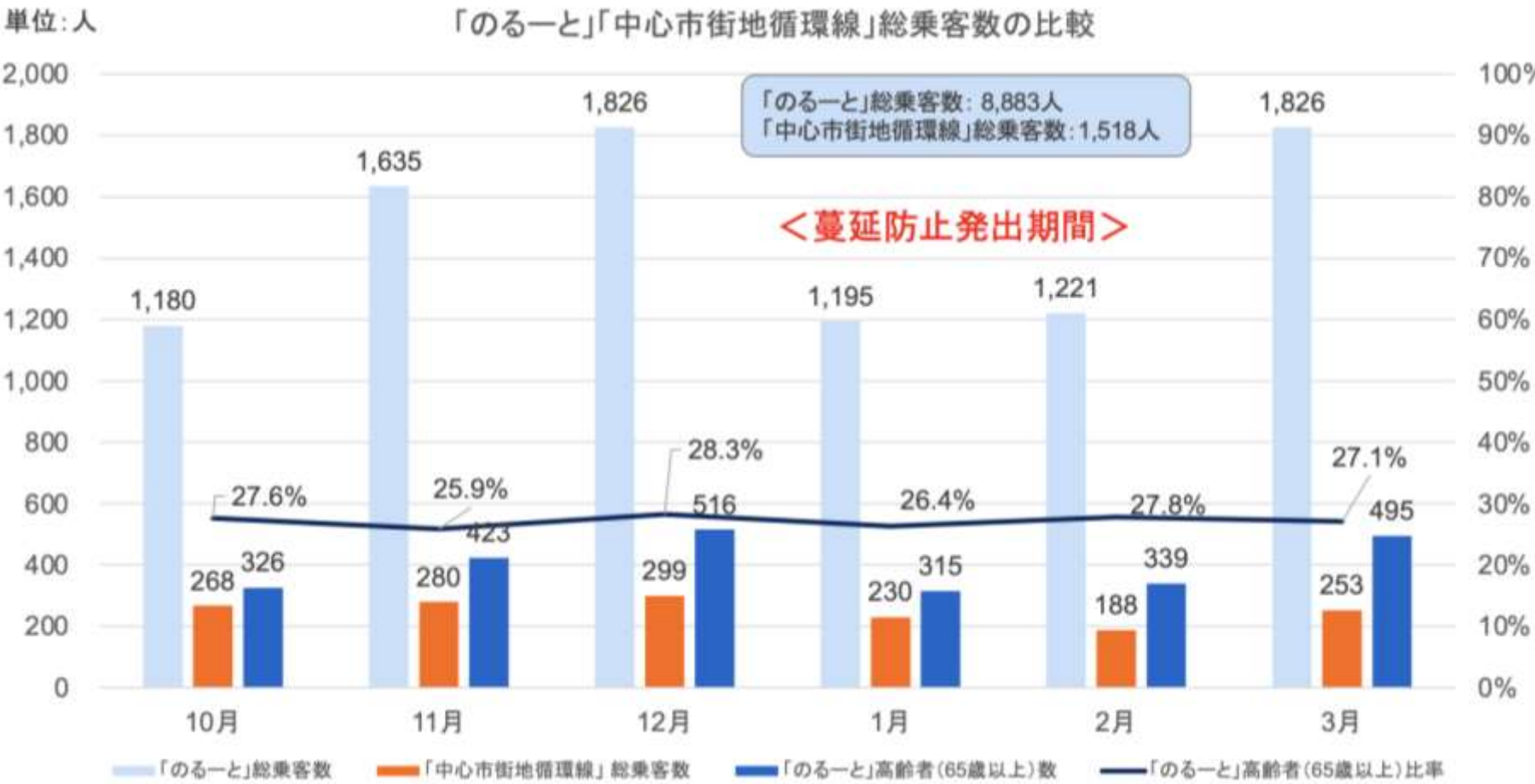


年齢別構成比率【n=790】
(利用者ベース)

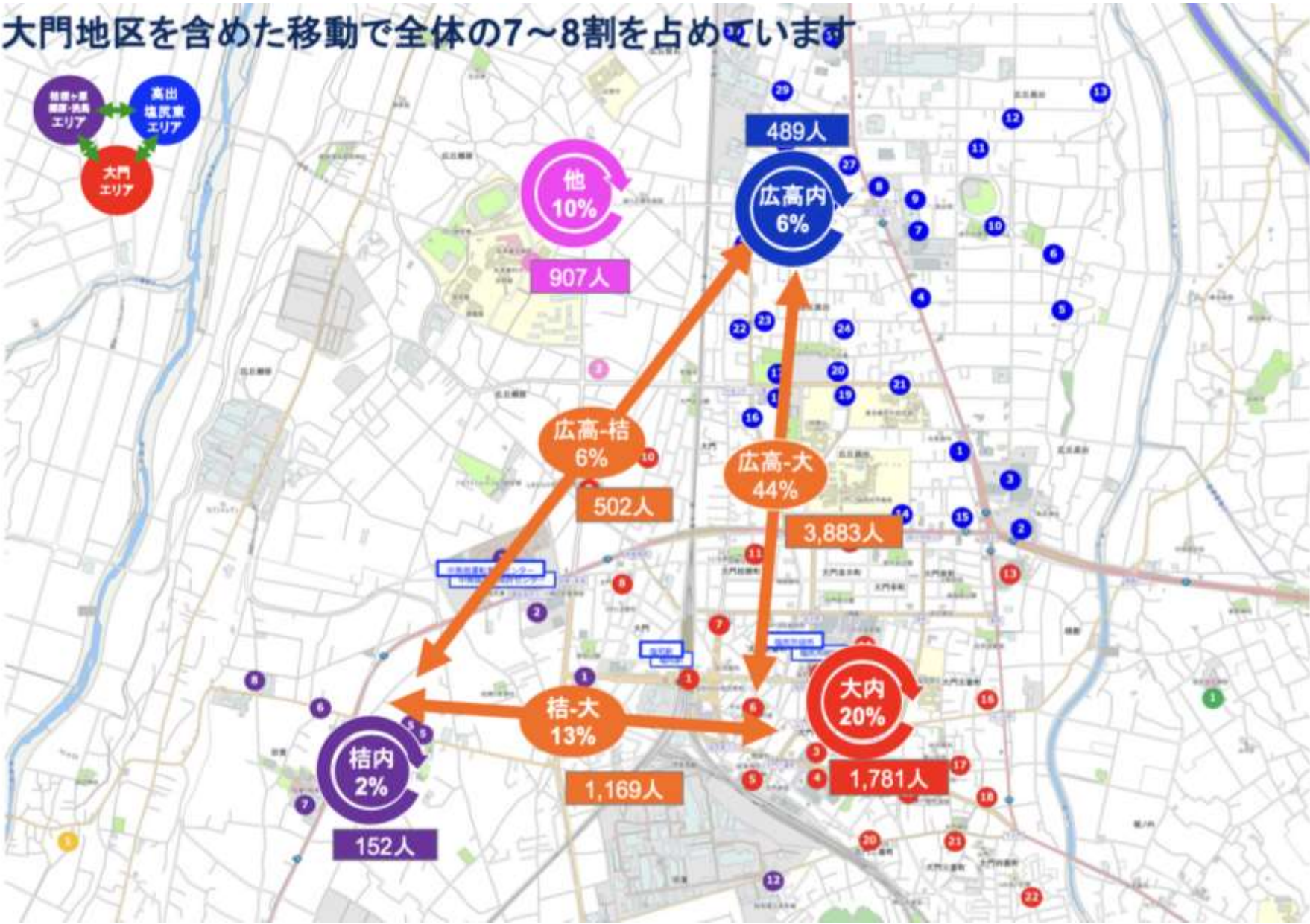


蔓延防止発出の影響で一時的に利用落ち込む期間あるも、6ヶ月間の有償実証実験にて8,883人(平均49人/日)の利用となり、市目標の平均40人/日を過達。振興バスと比較して約6倍の利用実績となり、生産層・高齢者共に多くの利用が見られました

※高齢者数については、予約者が65歳以上の場合で、大人又は障がい者の同乗者も一律高齢者として扱った場合の数値
※高齢者乗客数比率=高齢者乗客数/総乗客数

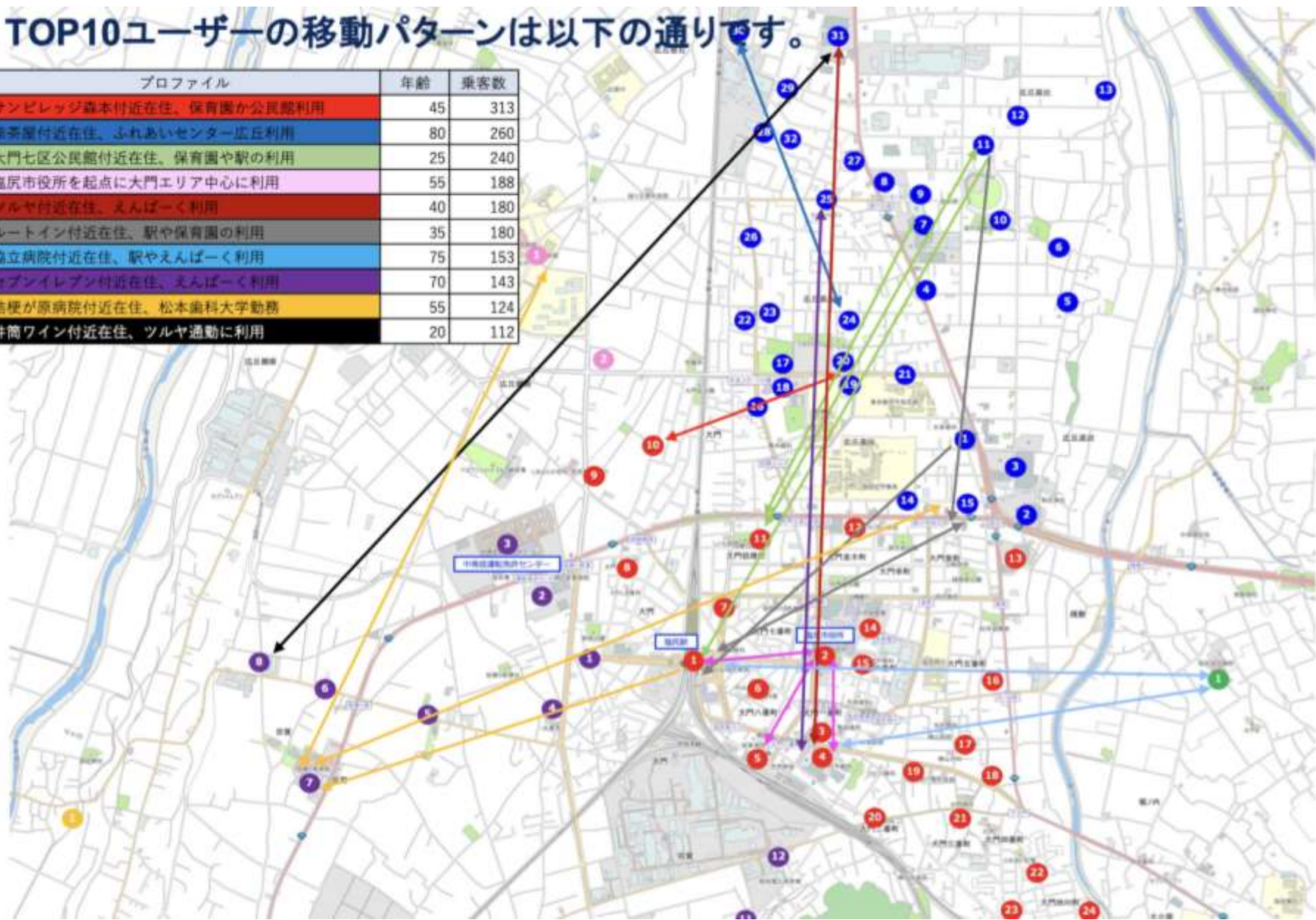


大門地区を含めた移動で全体の7～8割を占めています



TOP10ユーザーの移動パターンは以下の通りです。

プロフィール	年齢	乗客数
サンビレッジ森本付近在住、保育園が公民館利用	45	313
桑茶屋付近在住、ふれあいセンター広丘利用	80	260
大門七区公民館付近在住、保育園や駅の利用	25	240
塩尻市役所を起点に大門エリア中心に利用	55	188
ツルヤ付近在住、えんばーく利用	40	180
ルートイン付近在住、駅や保育園の利用	35	180
協立病院付近在住、駅やえんばーく利用	75	153
オプニレブ付近在住、えんばーく利用	70	143
結梗が原病院付近在住、松本歯科大学勤務	55	124
井筒ワイン付近在住、ツルヤ通勤に利用	20	112



大門地区MPの利用が上位に多いですが、病院・主要商業施設等の利用も多くなっています。

単位:人

乗車MPランキング (TOP20/111)	乗客数	比率
大-1 塩尻駅東口	1135	12.8%
大-3 えんばーく	586	6.6%
大-2 塩尻市役所	493	5.5%
高-⑤-5 ツルヤ広丘店	389	4.4%
大-4 ウイングロード	375	4.2%
東-1 塩尻協立病院	350	3.9%
洗-1 信濃ワイン	197	2.2%
大-10 サンビレッジもりもと (北向き)	170	1.9%
高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	167	1.9%
宗-7 桔梗ヶ原病院	162	1.8%
高-①-1 中村病院	160	1.8%
高-③-10 ローソン塩尻桔梗ヶ原店	159	1.8%
大-22 大門田川町北 (北向き)	156	1.8%
高-③-2 ホテルルートイン塩尻	156	1.8%
高-⑤-4 ふれあいセンター広丘	155	1.7%
広-1 松本歯科大学	152	1.7%
高-③-11 レオパレス芝茶屋 (東向き)	144	1.6%
高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店 (東向き)	132	1.5%
広-2 ユメックスアリーナ (西向き)	128	1.4%
宗-2 西友塩尻西店	128	1.4%

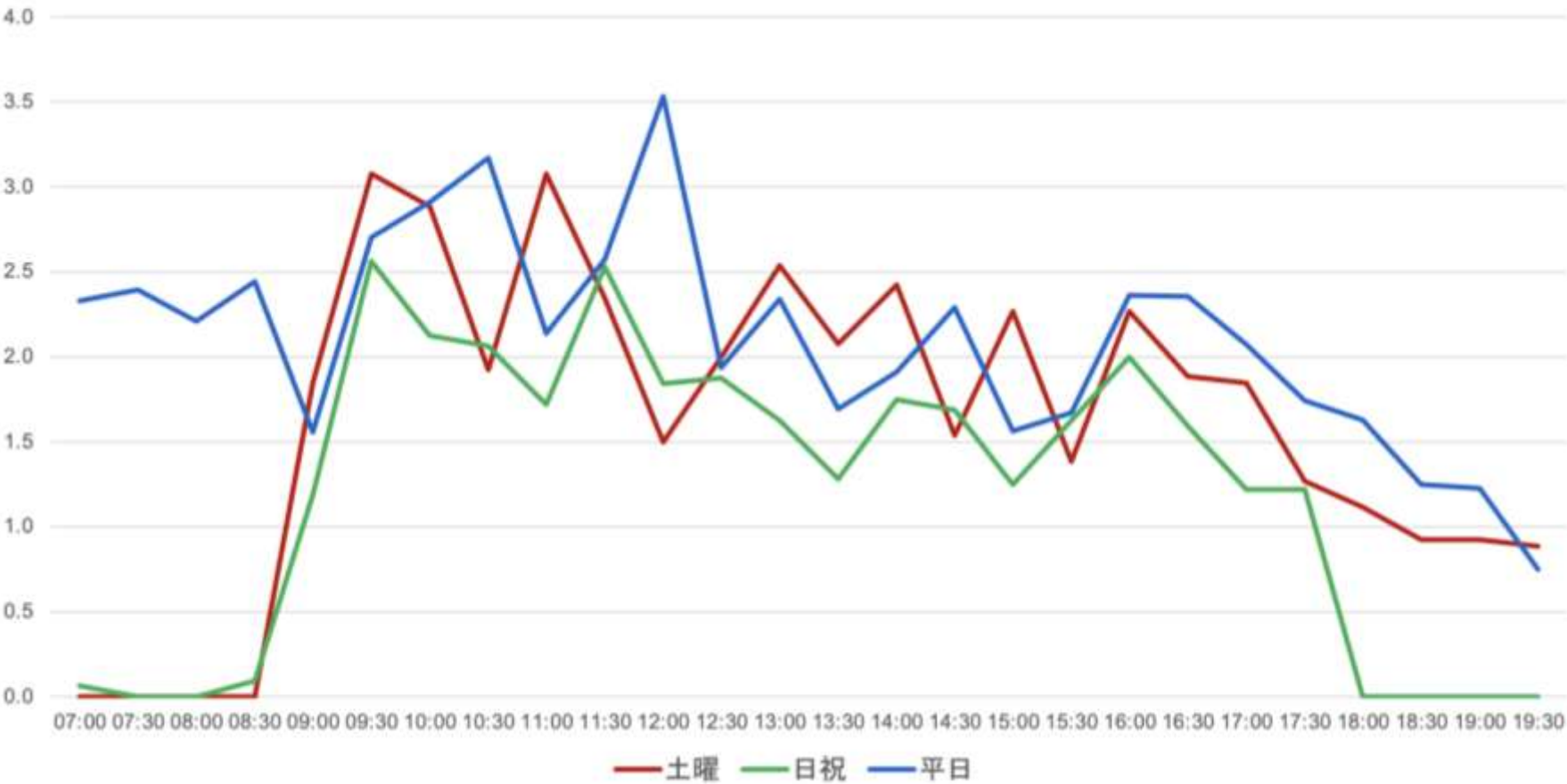
降車MPランキング (TOP20/111)	乗客数	比率
大-1 塩尻駅東口	1447	16.3%
大-4 ウイングロード	636	7.2%
高-⑤-5 ツルヤ広丘店	556	6.3%
大-2 塩尻市役所	503	5.7%
大-3 えんばーく	426	4.8%
宗-7 桔梗ヶ原病院	202	2.3%
東-1 塩尻協立病院	195	2.2%
高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	182	2.0%
高-③-11 レオパレス芝茶屋 (西向き)	176	2.0%
高-③-7 高出第二公民館	175	2.0%
広-1 松本歯科大学	174	2.0%
高-③-2 ホテルルートイン塩尻	172	1.9%
高-⑤-4 ふれあいセンター広丘	170	1.9%
高-②-5 塩尻市立高出保育園	168	1.9%
洗-1 信濃ワイン	165	1.9%
高-③-9 桔梗ヶ原簡易郵便局	147	1.7%
宗-8 井筒ワイン	134	1.5%
高-①-1 中村病院	133	1.5%
宗-2 西友塩尻西店	132	1.5%
高-⑤-1 ガスト塩尻店	129	1.5%

午前中の利用が傾向として多く、午後は夕方16時をピークに徐々に減少しています

※時間帯については、「乗車希望時間」をベースにカウントし、平日土日祝それぞれの稼働日で日割り計算し、算出

単位:人

時間帯別乗客数平均(平日/土曜/日祝)



1 実証運行に取り組む背景

2 令和3年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行最終結果

3 令和4年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行計画（案）

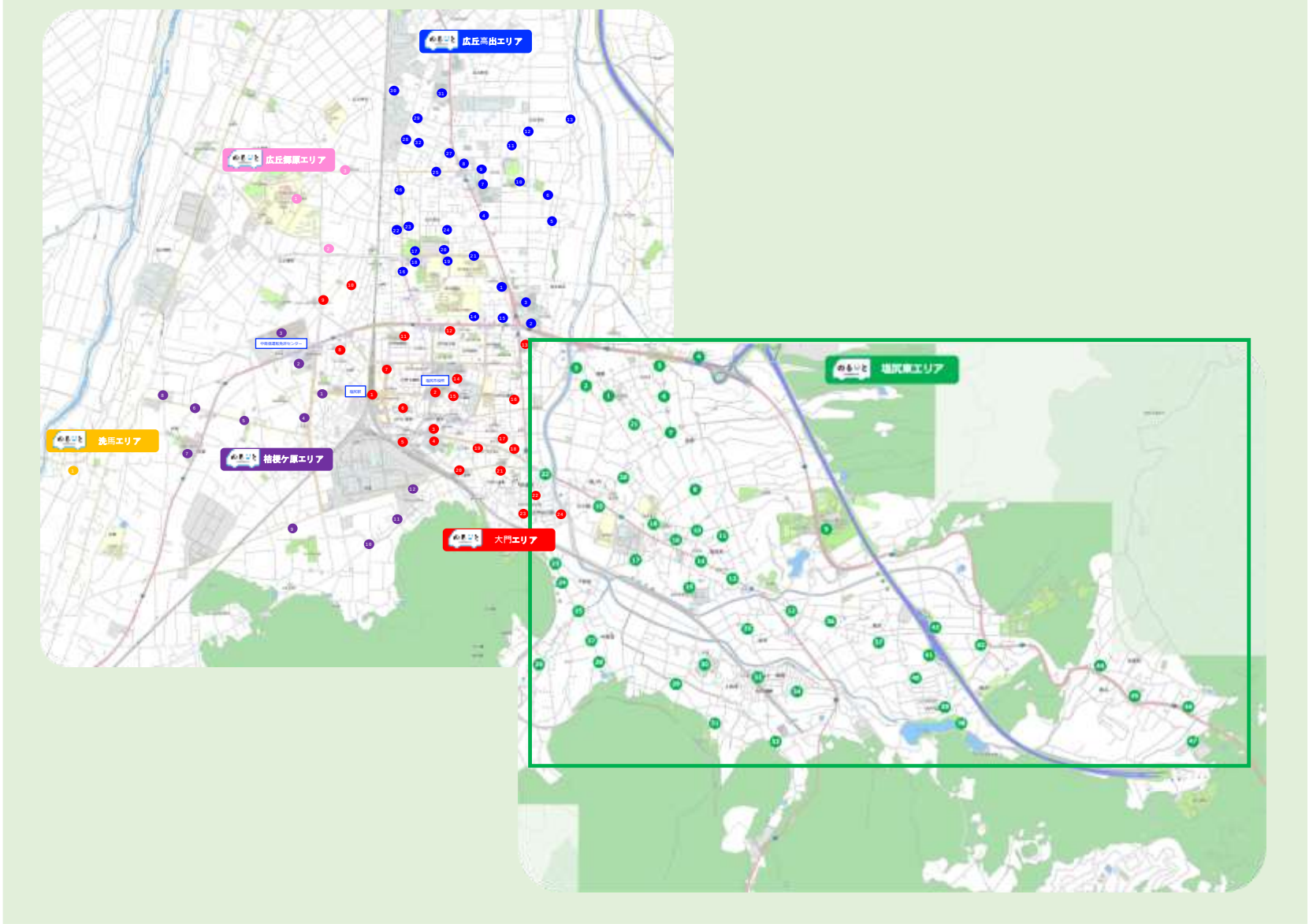
令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



項目	内容
実施主体	塩尻市・（一財）塩尻市振興公社
実証期間	令和4年10月1日～令和5年3月31日
運行時間	平日 午前 7 時 00分～午後 8 時 00分 土曜日 午前 9 時 00分～午後 8 時 00分 日祝 午前 9 時 00分～午後 6 時 00分
運行事業者	アルピコタクシー（株）
事業許可	道路運送法 第4条(区域運行)
実証運行対象エリア	塩尻東エリア
実証運行エリア面積	約10km ² (塩尻東エリアのみ) 【全エリア約20km ² 】
使用車両台数	平日 4台 土日祝 3台 【全エリア】
乗降拠点設置箇所数	83箇所(システム設定含む) 【全エリア194箇所】
運賃設定	大人200円 小児・障がい者100円 乳児無料
KPI（目標値）	50人/日【全エリア100人/日】
転換検証対象路線	地域振興バス「塩尻東線」, 「みどり湖・東山線」

※乗降拠点設置箇所数については、今後の公安協議等により変更となる可能性があります。

本格運行している現行エリアを塩尻東エリアまで拡大し、一面で実証運行を実施



実証運行における料金設定の考え方

【実証運行】

運賃表			
距離 運賃	大人	小児・障がい者 (小学生6歳以上12歳未満)	乳児 (6歳未満)
運 賃	200円	100円	無料

- ✓ 実証期間中(10/1～3/31)においては、利用者が地域振興バスとのるーとを乗車比較していただくため、現行運賃を採用
- ✓ 本格運行に移行した場合は、「距離別運賃」を採用予定



【本格運行】

運賃表			
距離 運賃	○km以内	○ km以上 □ km以内	□ km以上
運 賃	○00円	○00円	○00円

- ✓ 小児（小学生※6歳以上12歳未満）・障害者（同伴者含む）の方は半額、乳幼児（6歳未満）は無料

3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

塩尻東エリア概要	
対象人口	約7,500人
世帯数	約2,900世帯
高齢化率	33.4% (全市平均28.7%)
地域振興バス路線① (平均乗車人員/日)	塩尻東線 (29.53人/日)
地域振興バス路線② (平均乗車人員/日)	みどり湖・東山線 (16.85人/日)



3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



運行エリア
拡大！

AI活用型オンデマンドバス

「のるーと塩尻」の
実証運行を開始します！

- 「のるーと塩尻」は、乗りたい時にアプリや電話で呼べる新しい乗合バスサービスです。
- 本市では地域住民の移動手段として「すてっぷくん」を運行していますが、利用者減少などの課題を抱えており、新たな交通サービスとして「すてっぷくん」から「のるーと」へのサービス代替を検討しています。
- 今回の実証運行では、本格運行している中心市街地エリアに塩尻東エリアを加え地域住民の皆様へ「すてっぷくん」と「のるーと」の乗車比較をしていただき、ご意見や評価を踏まえ令和5年4月1日以降に「塩尻東線及びみどり湖東山線」とのサービス代替が可能か否かを検証します。
- 地域の公共交通は一人一人が「乗って残す」という意識を持つことが重要です。是非ご利用をいただき、サービスに対するご意見をお寄せください。

運行期間 10月1日(土) ~ 3月31日(金)

※ 年末年始(12月30日~1月3日)は運休

運行時間
平日 午前7時00分~午後8時00分
土曜 午前9時00分~午後8時00分
日祝 午前9時00分~午後6時00分

運賃表	
大人	200円
小児 (小学生6歳以上12歳未満) 障がい者・同伴介助者 (乗車時に手帳を提示)	100円
乳幼児 (6歳未満)	無料



お支払い

現金、地域振興バス回数券
共通利用券 (塩尻市運転免許証自主返納支援事業で配布)
クレジットカード (アプリ予約時限定)

地域振興バス回数券の料金/11枚綴り1,000円
販売場所/塩尻市役所2階都市計画課、各支所、えんぱーく2階総合受付
塩尻市観光センター (JR塩尻駅東口前)



のるーと塩尻の使い方

簡単な4つのステップで利用できます♪

※ ご利用にはアカウントの登録（無料）が必要です。

- 呼ぶ** アプリまたは電話で配車を予約
※ 乗車希望日の3日前から予約可能
※ アプリからの時間指定による予約は24時間可能
- 来る** 指定されたのりば（乗降拠点）で車両を待つ！
- 乗る** ドライバーに予約番号を伝え乗車
※ 予約番号は会員登録時の電話番号下4桁です
- 払う** 乗車時に運賃を前払い
※ 両替機がないため釣銭がでないようご注意ください



専用アプリ（無料）のダウンロード方法

「のるーと塩尻」電話予約センター



電話番号 ☎ 0263-50-8668
受付時間 午前9時~午後5時

※ 電話での登録受付も可能です。初回登録には10分程度かかります。



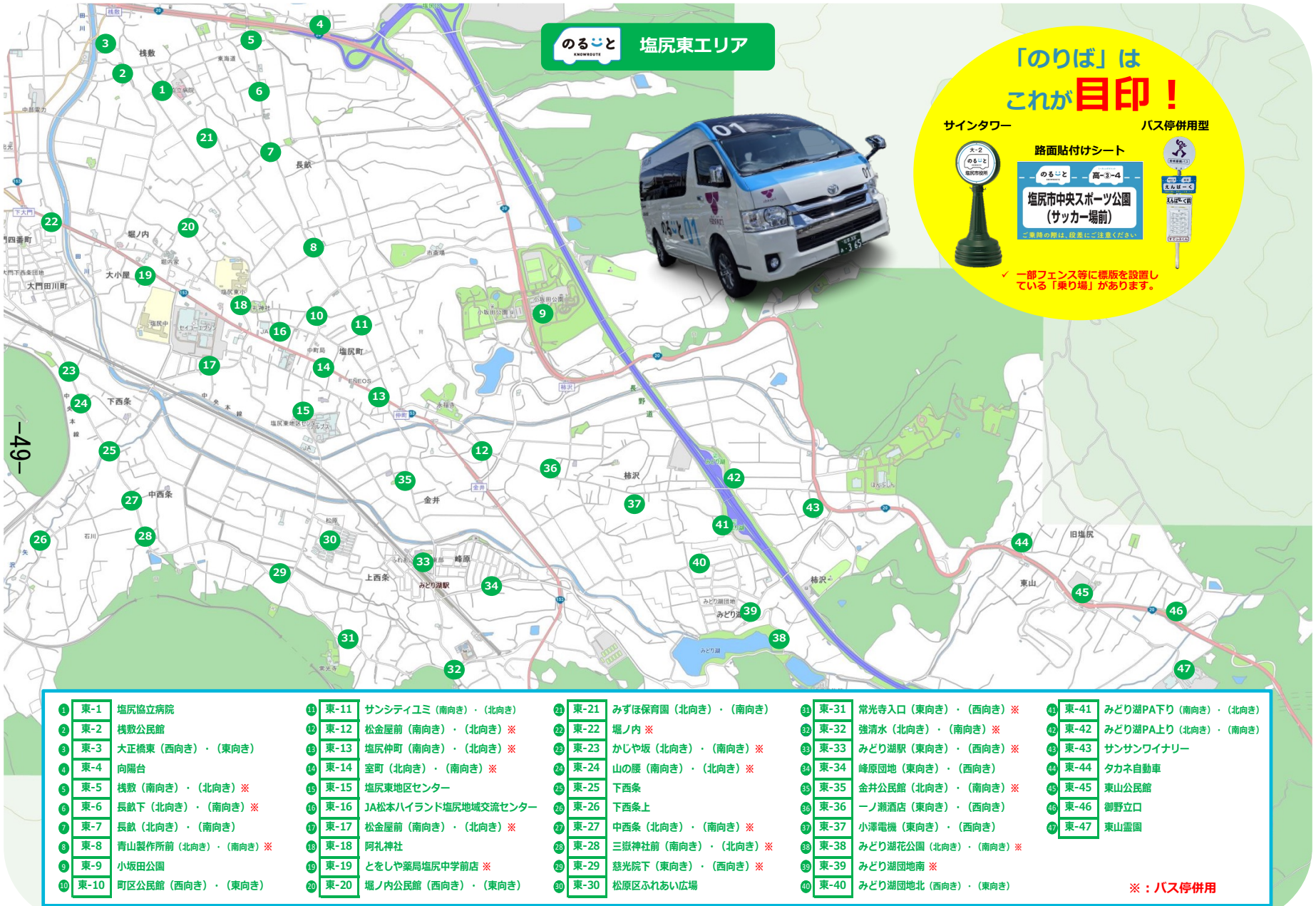
※9月28日からお電話でのご予約が可能になります。
400円分ご乗車可能なお得なクーポンをプレゼント

- ステップ1 ホーム画面 ▶
- ステップ2 アカウント設定 ▶
- ステップ3 プロモーションコード ▶
- ステップ4 「のるーと」を入力

※お電話でご利用される方は電話予約センターにお電話し、クーポンの発行をお願いします。

お問い合わせ
【運行に関すること】 塩尻市建設事業部都市計画課 ☎ 0263-52-0689
【忘れ物に関すること】 アルビコタクシー (株) 塩尻営業所 ☎ 0263-52-3171

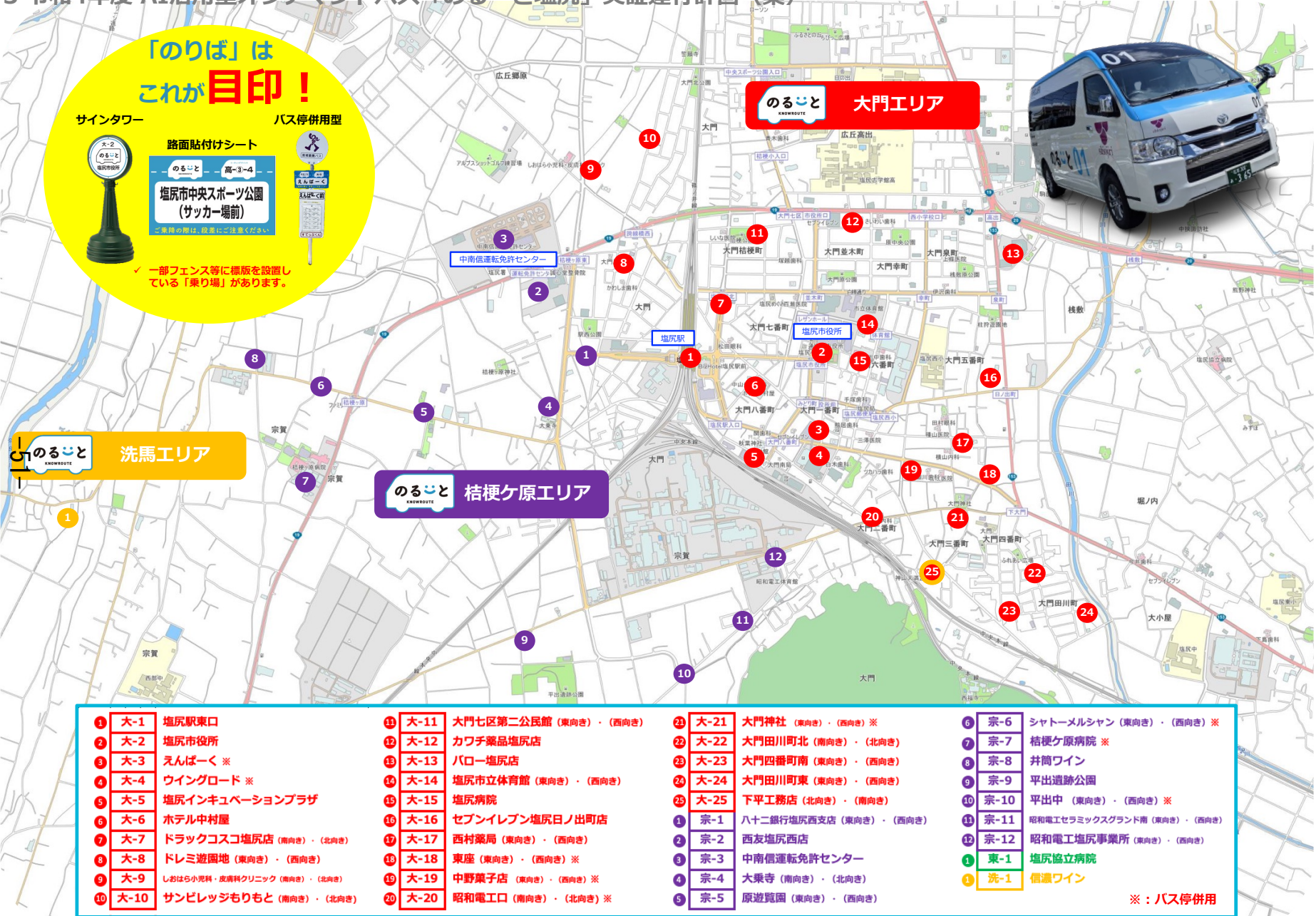
3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



3つに分類されるミーティングポイント設置基準

のるーと

type 1



施設型ミーティングポイント

のるーと

type 2



観光型ミーティングポイント

のるーと

type 3



人口密度型ミーティングポイント



設置場所の状況により適切な標示形態を選択

標柱型
(サインタワー)



シート型



ミニ標版



ミニ標版
(バス停併用)



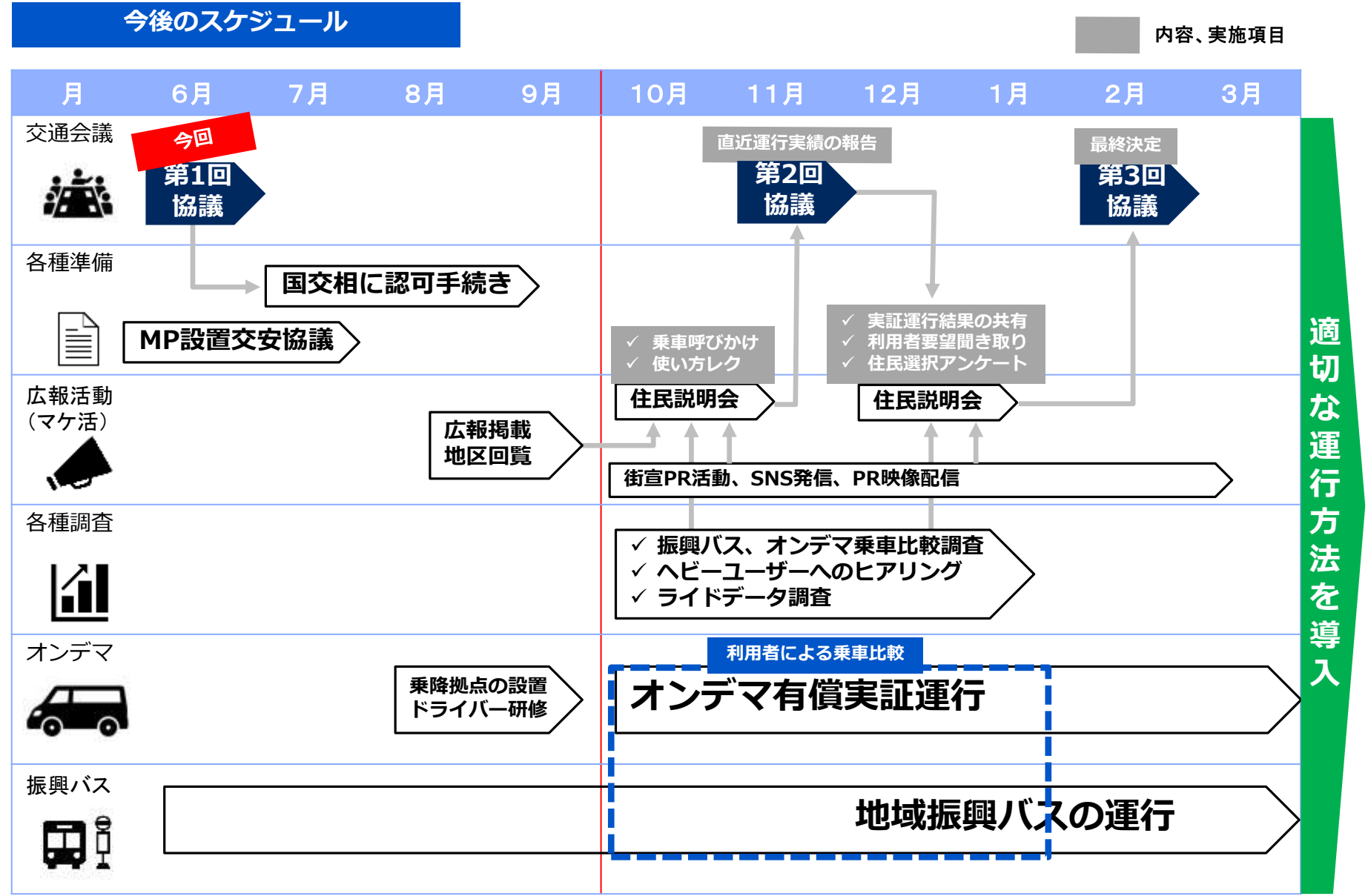
3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

運行車両状況

運行エリア面積 約20km² 最大4台で運行



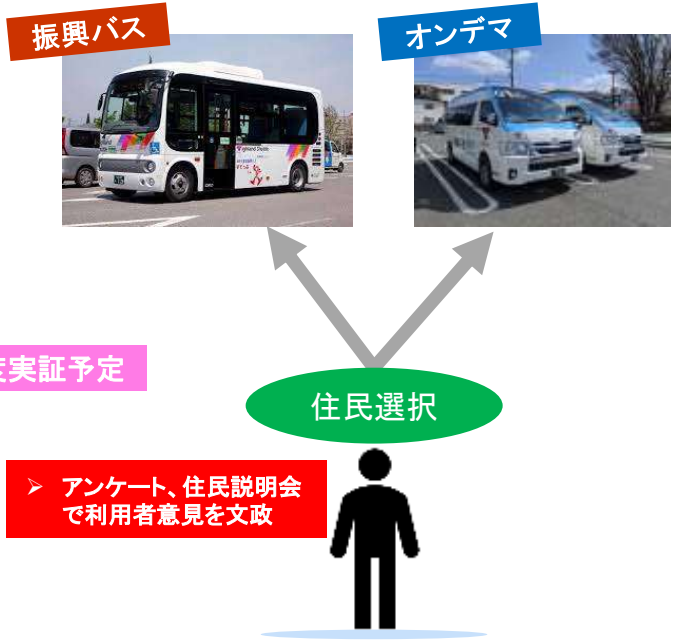
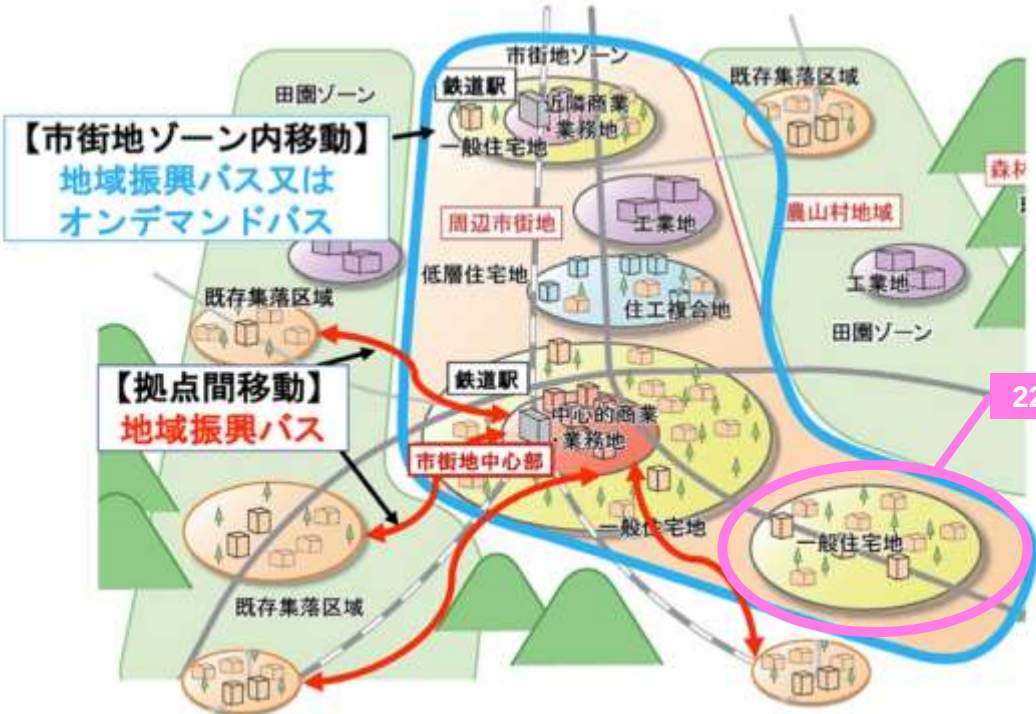
3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



3 令和4年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

- ✓ 市街地ゾーンで年次ごと実証運行エリアを拡大しつつ、ヘビーユーザーに地域振興バスとオンデマンドバスの乗車比較をしていただき、どちらのサービスが適切かニーズを分析します。
- ✓ その結果を踏まえ次年度の適切な交通モードでの運行を検討していきます。

実証運行エリア	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中心市街地循環線	完了	実証運行	本格運行開始		
塩尻東線/みどり湖・東山線		実証運行	住民選択の結果 適切なモードで運行		
広丘駅循環線/塩尻北部線			実証運行	住民選択の結果 適切なモードで運行	
片丘線				実証運行	住民選択の結果 適切なモードで運行





のるじと



KNOWROUTE

shiojiri